

令和6年3月18日

令和5年度共同研究講座活動実績報告書

共同研究講座名：食と健康研究講座

所 属 長：福井 道明

1 共同研究講座の目的

日本糖尿病学会が掲げる糖尿病診療の目標、すなわち糖尿病がある人の人生の幸福度を高めることを達成するために、食品関連企業と共同研究し、抗サルコペニア・抗肥満・糖代謝改善効果を有する食品を研究・開発すること。

2 報告年度に係る取組状況

- 従来の牛井と比較検討し、グアーガム分解物（PHGG：Partially Hydrolyzed Guar Gum）として サンファイバー®6g（食物繊維5g）を混ぜた牛井（以下 ファイバー牛井）の摂取が食後の血糖変動を抑制し、食後2時間後の血清GIP（glucose-dependent insulintropic polypeptide）及びGLP-1（glucagon-like peptide-1）分泌を促進し、食後2時間後のグレリン分泌を抑制した。
- 血清メタボローム解析の結果、ファイバー牛井の摂取は食後の血中オルニチン、リジンを上昇させた。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

- 本塚卓、牛込恵美、濱口真英、黒川眞行、辻智子、安部綾、佐藤則夫、福井道明、ファイバー牛井摂取の食後血糖変動に与える影響についての検討、第60回日本糖尿病学会近畿地方会

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。